

産業能率大学

INFORMATION

オープンキャンパス

[自由が丘キャンパス・湘南キャンパス]

5/22 6/19
SUN SUN

7/3・24
SUN SUN

8/6・28 9/11
SAT SUN SUN

[自由が丘キャンパス]

8/14
SUN

事前予約制。オンラインも同時開催。日程、開催方法は変更となる可能性があります。最新情報は大学公式サイトにてご確認ください。



スマホ持ち込み可の「未来構想方式」など、実社会に即した選抜を展開する産業能率大学。「知識を実践に活用すること」を学びの基盤とし、社会課題への関心や課題解決の実践に対する意欲を評価してきた。2023年度もこの方針は変わらず、多様な選抜方式により幅広く学生を受け入れる方針だ。

「将来像」を問う総合型選抜と

多様な学生に対応する一般選抜

総合型選抜ではAO（アドミッションズ・オフィス）方式、AL（アクティブラーニング）方式、MI（マーケティング・イニシアティブ）方式、キャリア教育接続方式の4方式を実施する。いずれも「将来の自分についてじっくり考える」ことが問われ、面接やグループ討論、レポート作成などを通して「大学で何を学びたいのか」「現在抱えている問題意識」などを評価する。

一般選抜では7方式を実施。課題発見・解決力を評価する未来構想方式のほか、大学入学共通テストと独自試験の得点の合計点を2つの配点パターンで評価するスカラシップ選抜方式（国公立併願タイプ）など、多面的な評価で幅広く学生を受け入れる。

スマホ持ち込み可の「未来構想方式」は

現代社会に即した試験内容

一般選抜の「未来構想方式」では、大学入学共通テスト（3教科または5教科）、事前記述課題、試験当日の未来構想レポートという3つの試験で学力の3要素を見る。総合型選抜だけでなく、一般選抜でも探究学習の成果を評価する形だ。なかでも未来構想レポートは、地域課題に関する問いに対して課題の原因となった事柄を見出し、解決策を考えるというもの。スマホやタブレットの持ち込みが可能で、その地域の歴史や時代背景を検索したり、別の地域の解決モデルを参照したりするなどの活用

方法を想定している。正解のない問いにどのような解決策を提示できたか、テーマをどのように深掘りして問題点を捉えたか、という2点に加え、実社会において重要なスキルである情報検索能力も評価の対象となるのが特徴。

総合型選抜・AL方式併願型を

MI方式にリニューアル

マーケティング学科が対象の総合型選抜・AL方式（専願型・併願型）について、2023年度は併願型をMI（マーケティング・イニシアティブ）方式として独立させ、日程、募集人員ともに増やす。

MIとは、2022年度から始まるマーケティング学科の超実践型PBL（Project Based Learning）で、多様な社会課題に関心を持ち、経営学やマーケティングの知識を活用し解決策を導き出すという新しいPBLだ。学生自ら社会課題を発見する実践的な内容となっている。

そして、入学後にこのプログラムの履修を希望する受験生を受け入たいとして開設されたのがMI方式だ。このプログラムに少しでも興味があれば悩むことなく挑戦してほしいという思いから、併願型を採用。事前課題の自己記述書をオンライン入力とするなど問口を広げている。具体的な試験内容は前年度のAL併願型から大きな変更はなく、社会課題に関するレポート作成（A4用紙1枚程度、スマートフォン等持ち込み可能）、テーマ設定に関するプロセスの図解資料作成、そして面接を総合的に評価する。

期待する受験生像



入試企画部長
林 巧樹

最も期待するのは、産業能率大学の学びの根幹である「知識を実践に活用すること」。本学の建学の精神でもあり、最も重要にしている学びに対する価値観です。学んだ知識をすぐに活用したい、こうした意欲を持つ学生を迎え入れたいです。加えて、地域社会が抱える課題に興味を持ち、解決したいという意欲があるとより嬉しいですね。本学には学校行事などに積極的に参加した学生も、また参加しなかったがその一歩が踏み出せなかったという学生が多く集まっています。主体性の大切さに気づき行動できることが求める受験生像です。